

市原市消防操法大会

第8分団完全優勝!

今年も加茂地区から

8日、市総合防災センターで行われた市原市消防操法大会でも、個人賞である最優秀操作員を独占するなど堂々の優勝。その後、同会

激戦の加茂支団大会を勝ち抜いた8分団(月崎・石塚・柳川・菅野)は6月2



加茂支団大会を勝ち抜くことが県大会制覇への道

加茂支団大会にて

場で行われた千葉支部大会でも、横綱格の強さで県大会出場を決めました。

なお、市原市大会の個人賞は以下の通りです。

最優秀操作員

指揮者：中澤辰則

1賞賞：嶋野寛

2賞賞：鈴木祐之

3賞賞：吉川和明

昨年は県大会会場に際高く加茂支団第三分団の旗がひるがえり、団員を鼓舞し優勝を得ました。他の分団のサポートも受けながら地域の期待を背負って一生懸命練習を積み重ねる8分団に、県大会での栄光あれと祈りたいと思います。

(天曾根↑里山通信員)

加茂里山通信

平成28年夏号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造

1000本あまりのタケノコが

市原のタケノコを福島に

4月24日に市原有志の会(藤田和利代表)主催、商工会議所加茂支部・加茂里山通信共催で、福島への復興支援事業として市原のタケノコをいわき市に届けました。加茂里山通信で加茂地区の方達に呼びかけ、川間の高沢さんや市原市奈良の横尾さんの協力も得ました。(この二人は相当量の本数を提供してくれました) 又今回ははらけケーブルテレビの取材を受けた平野の石渡さん達のグループもたくさんタケノコを提供してくれました。このプロジェクトは今年で3年目となりましたが、年ごとに提供してくれる人たちが増え、本数も昨年の倍以上となり目標の1000本を超え1200本位が集まりました。加茂支部前の集荷場所に次々と軽トラックなどで運び込まれる中、小学生の男の子がお母さんと一緒にタケノコを届けてくれました。うれしい限りでした。用意した4トントラックの荷台はタケノコで埋め尽くされました。



曇りがちでしたが雨に降られることもなく、ほぼノンストップで4時間をかけて運んだタケノコは、四倉の震災遺児・孤児のための施設「チャイルドハウスふくまる」に150本位降ろし、久ノ浜「浜風商店街」にて800本位を配り、残りを檜葉町の仮設住宅に届けられました。久ノ浜では待つていくれた婦人会の方達の手の届きも、一人あたり3本持つて行ってもらいました。多くの方に喜んでいただけたのが何よりでした。地元福島のマスコミの取材を受けていた年配の「婦人が「ほんとうにありがたい」と話していたのが印象的でした。

(征矢里山通信員)

里山ホテル通信16

ホテル観賞会に先立って、通路が分がるようにと行燈を付ける作業と小屋付近の草刈りを行った。ろうそくの灯もゆらゆらと暖かきいものだ。

例年と違い5月終盤に暖かい日が続いた事もあり、今年のホテルは早めに飛び始めていた。去年までは6月初旬でやっと暖かくなり、観賞会が開催出来るだろうかと気をもむ状態が続いていた。自然相手の行事は年を追うごとに、多彩な色になっていく。水路の状況も今年はいノシシとの攻防戦の中で負け、流れが悪く



場所によればこの程度ではなく乱舞もありました

なってしまうた六分ホテルの乱舞に影響してしまいました。今年の3日間のホテル観賞会は駐車場を近く借り、安全面を重視した形をとる事が出来た。来訪者は3日間で150名程であった。やはり、来訪者が増えれば考えなければならぬ事は増えてくる。今年も平穩無事に観賞会が開催出来た。上野敷里山の会のメンバーはそのことに感謝し、来年も開催できるように準備をしたい。

(矢代里山通信員)

加茂学園1年生です!

今年も加茂学園に元氣な十七名の加茂っ子が入学してきました。子どもたちは毎日元氣に学校生活を楽しんでいきます。

入学してから三か月で子どもたちはすっかりたくましくなりました。五月には、体育祭でお兄さんお姉さんと一緒に走ったり応援したりしました。六月にはクオードの森に生きもの探検に出かけました。今は一人一鉢の朝顔に毎日水をあげながら、花の咲くのを楽しみに待っています。新しい経験をするたびに目を輝かせてがんばっている一年生です。



かけがえのないなかまになるだろうね

担任の先生より

入学おめでとう!

きみたちのえがおでみんなもえがおになるよ

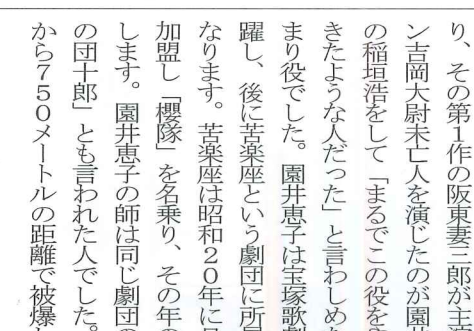
家族のような少年野球チーム

一昨年の2月から旧高滝小の跡地を本拠地に、週末活動している少年野球チーム「南総ボーイズ」が、今年も田植えを行いました。昨年と同じように農業集団「アグリ高滝」の人たちや関係者や父母達の協力を得て、快晴の5月7日に久保駅前の広い田んぼにコンシヒカリを植えました。久保駅は新しい踏切の工事と共に整備され象徴である大きな銀杏の木の下が休憩スペースのようになっていました。トロッコ列車を背景に記念写真を撮ると、素足で田に入り、渡された苗を手で分けて植えていきました。足をとられる田で格闘するこ

里山からの発信

と小1時間。その後は田植機に同乗し運転したりしてあつという間に全面に苗を植えていきました。後日雨天の日に体育館で練習していた時に、父母の一人の方からお話をうかがいました。「現在のメンバーは牛久小13人(女の子1人)、戸田小1人、内田小2人、加茂学園3人です。旧高滝小でグラウンド造りからやってきたので愛着を持っています。トイレがあり雨の時は専用の体育館があり条件はともいい。子供達は周りの親にもしかられみんなに育てられています。少年野球は本当にありがたい。親も一緒に一緒になって同じ場所で時間を過ごすので会話ができて仲がいい。親たちは自分の子供だけでなく、他の子もみ

ます。他の子の成長を見るのも楽しみ。入ってきた人でやめる人はいません。親子も深いつきあいが出来ています。子供が少年野球を卒業しても手伝いに来てくれます。卒業した子供達も練習の手伝



トロッコ列車の前でまずは記念撮影



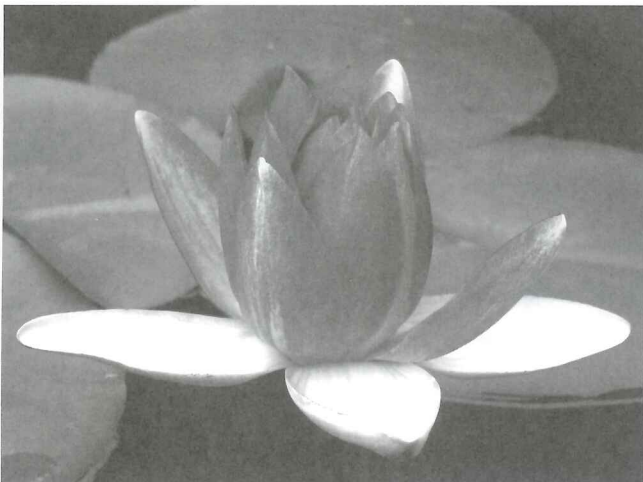
素足で田んぼに入り苗を植えます

芝居の力と珠玉の言葉

「無法松の一生」という映画を年配の方なら観られた人も多いと思います。これまでに4作つくられており、その第一作の阪東妻三郎が主演した作品のヒロイン吉岡大尉末亡人を演じたのが園井恵子でした。監督の稲垣浩をして「まるでこの役をやるために生まれてきたような人だった」と言わしめたように、まさに活きた役でした。園井恵子は宝塚歌劇団の男役として活躍し、後に苦楽座という劇団に所属して新劇の女優となります。苦楽座は昭和20年に日本移動演劇連盟に加盟し「櫻隊」を名乗り、その年の6月に広島に着任します。園井恵子の師は同じ劇団の丸山定夫で「新劇の団十郎」とも言われた人でした。「櫻隊」は爆心地から750メートルの距離で爆撃し、8月のうちに隊

員9人全員が亡くなりました。これを再現ドラマと生存者の証言で1988年に映画化したのが「さくら隊散る」(新藤兼人監督)でした。そしてこの二人を題材に創作の芝居にしたのが井上ひさしの「紙屋町さくらホテル」です。これを観る機会がありました。二人を中心にわか仕立ての素人集団で1200人の観客を相手に3日後には上演しなければならぬ。演目は「無法松の一生」。主演はもちろん丸山の無法松と園井の吉岡末亡人。その素人演劇集団には日本国籍を認められない日系アメリカ人、身分を隠した海軍参事官、その彼を追うこれも身分を隠した陸軍大佐、言語学者、特高警察の刑事などがいます。ドタバタの素人芝居も次第に芝居の魅力に引き込まれていきます。喜劇仕立てでありながら、時に国家の理不尽さを辛辣に批判し、命のかけがえのなさを訴え、生きていることの素晴らしさを謳歌する。3時間

に生きていくことにもありますが、何より外で遊ぶのが当たり前で、山や川や原っぱが遊び場でした。悪さをすれば地域の大人達にしまられましたが、大人達の目の届く範囲の中で見守られていたと今に思っています。地域の子供達が地域の大人達に育まれた時代があつたと、お話をうかがってそんなことを思い出しました。他の子をしられるという環境は、しかる側と相手の親にも信頼関係があつてはじめて成り立つことです。少年野球チームが一つの大きな家族のようで、子供達もたくさん大人達に見守られながら成長しているのだと感じられました。



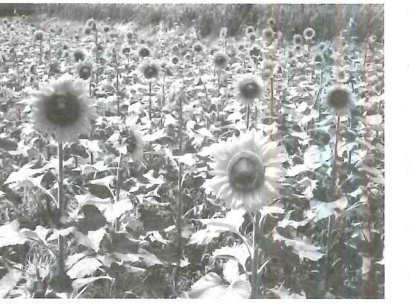
半の上演時間を忘れさせるほどに中身の濃い、そして珠玉の言葉がちりばめられた芝居でした。人はなぜ虚構であるはずの芝居を見て心を動かすのか、役者はなぜそこで芝居をするのか、芝居の本当の魅力はなんなのか、そういうことのほとんどがこの芝居には詰められていて、深く心に残りました。数多くある井上ひさしの傑作の中でも「さくらめく星座」と並んで生きるこの意味を考えさせられ、芝居の一場面一場面、言葉の一つ一つが強く残る芝居でした。ある役者に丸山が上がらないとつておきの方法を教

えます。「どんな晩でも少なくとも一人、生まれて初めて芝居というものを観て、そのために人生に対して新しい考え方を持つようになる人が劇場のどこかに座っている。その人のために全力を尽くせ。上がってなどいられない」そして初めて芝居に参加した者が「コーラスをした時、突然、世界が違って見えたんです。なんていい気分なんだろう。私は今一人ではできないことをしている。一人の人間の力をはるかに超えた何か大きなもの、何か豊かなもの、何か楽しいもの、それを望んで、それを確かに手にいれている。私の探していたものはこれ、ここに私の人生の本当の意味がある。そう思い当たって身体中に震えがきました」。客さんのお客さんが加わるんです。何百人ものお客さんの力、その力も合わせて、とても大きく大きなものを望んで、それを手に入れるんですよ、我々は

里山のご馳走

アトミックミックス 2016春

アートハウスあつらばらの谷「カフェおもいでの家」では期間中、JA市原市女性部のおかあさんが真心を込めて作るごはんをおもてなし。人気のメニューは天ぷら定食、天ぷらの品目は竹の子、人参、さつまいろ、カボチャ、うど、ヨモギ、茄子、インゲン、雪ノ下の葉の9品、その他に本日の小鉢5種(カボチャの煮物、絹さやのお浸し、卯の花和え、ワラビのお浸し、コーヒゼリー)の中から



里山料理の達人の皆さん

ら2皿、漬物、みそ汁、ごはんのセットです。雪ノ下の天ぷらはまだ食べたことがなかったもので、たずねたところ本物を教えてくれました。これだけの食材を集めるのも大変なことだと思いますが、「ワラビは夫がとってきました。リピーターの方も多く、食材について聞かれたり、感想を言ってくれたり、会話が楽しいですね」と話してくれました。養老溪谷の駅前では「いっぺあDe溪谷」の皆さんがイノシシメンチや焼きそば、養老川漁協がアユの塩焼き、小湊鉄道グッズも人気です。生のタケノコやフキ、ワラビも販売。フキとワラビを買っていた奥様二人組は「世田谷区からトロッコの乗ってきたの、またトロッコに乗って帰るんだけど重いかしら?」とのことでした。田舎暮らしをしていると当たり前のように、季節になればフキノトウの天ぷら、タケノコの煮物、フキの煮物を食べています。ワラビと竹の子のみそ汁、セリやクレソン、こみのお浸し、山ウドの味噌煮、アカシアの花の天ぷら、タラの芽の天ぷら。季節を感じるこれらの物が、まさに里山の御馳走ですね。親子連れが多く参加した旧里見小での『おにぎりのための運動会』では、綱引きやおにぎりころがしで大賑わい、お昼にはおにぎり、から揚げ、卵焼き、お浸しが大量に用意されていました。親子で遊んでから緑の山々を見ながら食べるおにぎり、このロケーションも里山の御馳走! 現在東京暮らしの息子がこつちへ帰ってくると、「緑が多すぎて目がよくなった気がする。」と言います。ワラビのお浸しを食べ、「うまいな、東京にいないワラビなんて見かけない。そこら辺には売ってないし季節なんてわからない。キャラフキ貰つていこう!」住む場所が変われば、見方も変わるものですね。(大曾根R里山通信員)

こっもと紀行

アート×ミックスの先にあるもの

活性化のためのイベント

今年もゴールデンウィークに小さいアート×ミックスが開催されました。新聞や広報いちほら、伝心柱でも紹介されていましたが、おめでたい「結婚式」から



多くの人が二人のために花で飾りました

始まるという華やかな開催となりました。トロツコ列車と柔の花の評判も追い風となり、来場者も、小さいアート×ミックス開催としては延べ8千人を超える盛況。昨年の春・秋の開催と比べても、来場者数は5割増しの成果になっています。来年の春はいよいよ中房総国際芸術祭「いちほらアート×ミックス」の本番2回目の開催となります。前回の集客は延べ9万人弱。新潟県の大地の芸術祭は50万人、瀬戸内芸術祭は100万人を集客していますが、はたして市原の芸術祭がどれくらい集客を見せるのか、楽しみな展開になってきました。

芸術祭は過疎が進む南市原の活性化のためのイベントです。イベントの開催が目的ではなく、このイベントを通して南市原がどうやって活性化していくのかが本来の目的です。では、南市原の活性化とはなんでしょうか。

徳島県神山町の奇跡の物語

徳島県の神山町という名前を存知の方もいらっしゃると思います。IT企業のサテライトオフィスのある町として、テレビをはじめとするマスコミの注目を集めたのは、数年前の事です。何社かのコンピュータ関連企業が空き家を改修して事務所を置き、若者が集まる田舎町として大きく取り上げられました。徳島県全体の人口は約78万人(ちなみに千葉市は94万人)。神山町は徳島市街から30kmほどの山間部に位置する人口6、300人ほどの過疎地域です。なぜ東京から遠い徳島県の、それも交通が不便な山間地の神山町が若者の集まる町になったのでしょうか。

知らなかった方のために、少し神山町の物語などをしてみよう。話は20年前前にさかのぼります。過疎地の事ですから子供たちも減り保育園も閉鎖されました。このままではふるさとが廃れてしまうと考えるたまの有志が「アーティストインレジデンス」というイベントをはじめました。国内外から芸術家を3名ほど募り、滞在しながら作品を造ってもらうというイベントです。宿舎兼アトリエは廃園になった保育所の建物を利用しました。お金もないので、交通費は実費(外国からの参加でも15万が上限。滞在費用も自分持ち。作品制作の材料費なども少しは出しますがほとんど自腹。募集要項がふるっています。・・・潤沢な資金や便利な環境が必要ならば神山はあなたが求める場所ではありません。豊かな自然と温かい人々に囲まれて作品を造りたい人だけが来て下さい。・・・そんな募集条件に入っています。それでも若い芸術家が国内外から応募してきたそうです。過疎の山間地の集落を外国人芸術家やその家族が歩き回り、集落の人たちと夜な夜な宴会を繰り返す。そんな光景が見られるようになりしました。

芸術でソコソコの効果を感じたまの有志たちは次に「ワークインレジデンス」という試みに挑戦しました。手に職を持った人たちが暮って町に滞在してもらうという狙いです。大工さんのような職人さん。パン職人や食にかかわる調理師さん。歯医者や職人かどうかは別として、神山町に移住して開業する歯科医まで現れました。ですから、古民家を改修してレストランを開業するなんてことも滞在する人たちが贈るものになりました。

地元の有志達もすいぶん応援したそうです。空き家を借りるにしても、持ち主との交渉はやはり地元の人

地元有志達もすいぶん応援したそうです

が話す方が良く決まっています。芸術作品を置く場所だつて、いきなり知らない人が土地を貸してほしいと来られても話がまとまりません。地元の有志たちは父親役となつて材料の手配や地域との交渉役を担い、母親役となつて生活の面を気遣いしたりという、縁の下を支える役目を果たしました。でも、つらい役目としてではなく、ともに食事をし、酒を酌み交わす仲間としての交流を重ねたそうです。そこに降つてわいたようにIT企業が事務所を出したいという話になり、思いがけず「サテライトオフィス」として全国の注目を集めるようになりしました。今では地元の若者も雇用されるなど、地域の活性化が見られるようになってきました。

創造的過疎について

田舎の集落に元からあつた商店は生活用品を提供しなければならぬので、閉めるに閉められず、食堂も移住してきた若者にチャレンジのための場所貸しをすることになり、昔からあつた金物屋はいつの間にか移住者の相談場所として若者のたまり場になっていたり、高齢化で商売をやめようとしていた人たちに新しい意欲を植え付けているそうです。

夜な夜などこかで開催されている宴会は、料理と酒は持ち寄りルールだつて、来るものは拒まず、出入りも自由だつて、集落の人口より視察する人が多いなどと言われる通り、いつの間にか知らない人たちが意見を交わしたりする光景が見られるそうです。神山町の人たちは「創造的過疎」という言葉で自分たちの活動を語ります。日本全体の人口が減つていく時代に、自分たちのような山間地が過疎化するのには当たり前。でも過疎や少子化で暗い気持ちになつて下を向くのではなく、今ある環境の中で少しでも前を向いて、今の暮らしを楽しみながら、明るい過疎の村を作っていきたいというのがその心でしょうか。

では、南市原の「創造的過疎」とはどんな形なのでしょう。

(次号に続く)
(大曾根T里山通信員)

夏の健康管理

暑い夏を元気に乗り切ろう

「食欲がない、だるい、疲れやすい」などの夏バテを予防し、暑い夏を元気に乗り切るために、毎日の健康管理が必要です。汗をかいて失われた水分を補わないと、脱水症状で熱中症を起したり、血液がドロドロになつて脳梗塞などをおこしやすくなります。

○夏こそ食欲を落とさないようにしましょう
夏野菜・トマトや枝豆、茄子、カボチャなどにはビタミンやミネラルが豊富です。また、しそやみょうが、らっきょうなどの香味野菜には食欲を増進させる効果があります。

夏は焼き味噌、青しそ、青唐辛子、しょうが、味噌ツナ缶をよくたたき血に盛りつけオープントースターで焼き目を付ける。豚しゃぶサラダ(レタス、きゅうり、みょうが、青しそ、トマト、豚肉、タレはんにんにくのすりおろし、酢、しょうゆ、砂糖、ごま油を混ぜる)。
食前、食事中に飲みすぎない(胃液を薄め、消化機能を悪くする)



○経口補水液を作ろう
(水1000cc、砂糖40g、塩3g、レモン汁半個分)

スポーツドリンクを薄める方法

(ポカリスエット500cc、水1000cc、塩1.5g)
(アクエリアス1000cc、水1000cc、塩3g)

○食中毒予防

湿度も気温も高い日が続くため、卵や肉などが感染経路になるサルモネラ菌や魚介類から感染する腸炎ビブリオ菌といった細菌が原因の食中毒が発生しやすくなります。(大事なのは食事の前には手を洗う、買った食材はすぐ冷蔵庫に入れる。十分に加熱する。たくさん作り過ぎない)

○睡眠で休養を十分に取る

夏の定番ビールの飲みすぎも水分補給の障害になります。アルコールの分解に体内の水分が使われ、飲んだビールの1.5倍以上の水が尿として排出されます。痛風の人は要注意!

(大曾根T里山通信員)

人と環境が一体となって大切な未来へ

自然環境と人間との調和を目指して

杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>

里山会議開催される

7月1日に南市原里山会議が開催されました。年に2、3回行われ、16回目となりました。市役所経済部や、芸術推進室、都市計画課、それに小湊鉄道湖畔美術館、そして南市原で地域活性化の活動をしている諸団体など、26ものグループが参加し月崎公民館は満杯の状況でした。今回は秋から冬にかけての種まきやイルミネーションの飾り付け、小湊鉄道の沿線整備や今後の計画、それに来年春開催の第2回アートミックスのことなど、盛りだくさん。そしてにぎやかな懇親会も、これだけの人間が一同に会すだけでも意義があります。調理その他を含め、準備に時間を割いてくれている方々の芳に感謝です。
(征矢里山通信員)



いつもこんな感じでワイワイ

西川の整備進む

加茂地区活性化推進機構(加茂活性化ネットワーク)は、冬から何度かにわたり古敷谷の西川の整備を進めてきました。今年は川に倒れかかっていた苦竹を切って処理し、川へのアクセスとなる道の整備のために草を刈り、地をならし、杉の本を切り、渡しを作ったりしました。子どもたちが安全に川に至るためのルートの確保にはまだまだやらなければいけないことがいっぱいあります。
それでも、いつか子供たちが西川で歓声を上げて喜ぶだろうことを思い描きながら整備を進めているところです。ホームページは「加茂活性化ネットワーク」で検索して下さい。
(征矢里山通信員)



ものすごい量の竹でした

高校生ゴルフ場を視察する

市原商工会議所観光部会は、市内の高校生を対象としたゴルフ場の視察研修会を今年も6月27日に実施しました。今回は、浜野GCさんと市原京急CCさんのご協力いただきました。それぞれ社会人の心構え、就業内容や体験などの講演があり、参加した高校生たちは時折傾きながら真剣な表情で説明を受けていました。
浜野ゴルフクラブの怒田支配人は、ゴルフ場で働くにあたって重要なこととして、お客様から頂く金額以上のサービスを提供することが満足につながり、また、なにより仕事を楽しむことが大切であると話されました。さらにゴルフ場の各部門の人の話も聞き、実際にコースを歩いて回りました。
市原京急カントリークラブの山元副支配人からは、社会人としての心構え、社会人になるとはどういうことなのかについて話を伺いました。挨拶の重要性や報告・連絡・相談など会社組織におけるルールの説明や社会人が負う責任はなにかという内容でした。
実施後に学校を対象に行なったアンケートでは、「実際に職場を見ることで、仕事の内容を具体的に感じられた」、「働いている方の話を聞いて、社会人の大変さがわかった」、「初めてゴルフ場を訪れて、ゴルフ場という職場に対する認識が変わった」という生徒たちの反応や、普段なかなか行く機会のないゴルフ場を見学でき、現場の声を聞けることは、生徒はもちろん学校にとっても非常に良い機会だという回答を頂きました。
ゴルフ場さんからも、進路指導の先生との名刺交換や就職希望の学生たちに仕事の大変さや素晴らしい話を話すことが出来て、とても有意義だったとお言葉を頂いており、今年で7回目となる本事業は意義のあるものになりました。(参加生徒33名)
(田村里山通信員)



晴天のもと真剣に聞き入る高校生たち

第28回加茂地区カラオケ大会

5月14日(土)市原商工会議所加茂支部主催の加茂地区カラオケ大会が、スナックまいづる(池和田)にて実施されました。地域商工業者と住民の交流を目的として実施されている本事業も、今年で第28回目となります。『地域の活性化には、地元の皆様のご協力が必要です。』地域の活性化には、地元の皆様のご協力が必要不可欠です。小茶支部長の声にも熱がこもります。困ったときはお互いさまと、入場者の皆様から、震災で被害を受けた熊本へとたくさんの寄付金をお預かりしました。当日は総勢100名以上の大盛況。加茂地区のカラオケ熱は冷めるところを知らないで、ゲスト歌手にすぎたじゅんさんを迎えての賑やかな大会では、常連の実力者や歌姫達が競い合うハイレベルな大会となりました。
(河崎里山通信員)



加茂のカラオケの達人の皆さん

昭和村納涼盆踊り大会

日時 8月6日(土) 18:30~20:30
会場 市原市万田野782番地6
主催 社会福祉法人 昭和村
社会福祉法人 昭和村
協賛 万田野万友会
かき氷・水ヨーヨー・飲み物(ノンアルコール・ジュース類) 無料。豪華景品の抽選会あります。
お越しください。
クレイン・トータス・げんき館 納涼祭
日時 8月6日(土) 午後4時半より (雨天中止)
フラダンス・よさこい・和太鼓演奏・盆踊り
焼きそば・じゃがバターなどの屋台が出ます
ぜひお越しください。

編集後記

・圏央道と鶴舞バスターミナルができて東京駅まで1時間、羽田までなら40分という距離になり東京まで近くなったと思ったら、市原から新宿まで高速バスが走るようになり、市原駐車場からは1時間15分で新宿駅南口バスターまで行くようになりました。甲州街道の隣の代々木寄りの線路の上にビルを建て、バスターミナルができたのです。便利なことこの上なくなったのですが一つだけ問題が、必ずしもトイレ付きのバスではないこと。市原までノンストップ、しかも高速の上で事故や渋滞による遅れも考えられる。新宿で飲んだりして帰る場合、やはり一抹の不安あり。高速バスは全てトイレ付きにしてほしいところです。
・山田洋次監督に「遙かな山の呼び声」という作品があります。高倉健主演でアメリカ映画「シネオン」をもとにしたと言われていますが、実は「無法松の一生」が大きく影響していることが今回調べていてわかりました。そういうえば未亡人と男の子、主人公が喧嘩が強い、徒競走が馬の競争になり、同じようにおおきな声で応援してくれなきゃダメだと男の子にいうシーン、子供がこんな大きな声を出したのは初めてだと未亡人が言うシーン。この2つの作品、ラストシーンに泣かされます。観てない方はぜひ。
・一面下の子供達の表情をもつ一度よく見てください。みんな個性のあるとてもいい表情をしています。以前は番号に載せていましたが、入学した後の硬い表情だったので学校に馴染んだ頃がいいのではないかと考えて夏号に載せることにしました。シャッターチャンス逃さなかった先生も子どもたちに信頼されていることがよくわかります。加茂学園でのびのび育ってほしいと思います。
・梅雨が開けて夏本番です。以前真夏に台湾に行った時、日本のほうが熱いのではないかと感心しました。ご自愛ください。
(征矢里山通信員)

次回は10月25日発行予定です。

情報提供、取材依頼はお近くの通信員へ。
メールでも受け付けます。
紙面及び記事に関するご意見、お問い合わせは左記へ。
市原商工会議所
0436(22) 43005 担当 河崎
Eメール kawasaki@ccci.or.jp

房総・養老深谷の地酒お土産は
養老深谷駅前
角屋商店
養老深谷観光協会窓口
市原市朝生原181
TEL 0436-96-1108
FAX 0436-96-0052

愛車のある幸せ暮らし
応援します!
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL 0436-96-0482
FAX 0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
バス釣り最盛期!
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277